

北九州工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	総合英語 A II	
科目基礎情報							
科目番号		0101		科目区分	一般 / 必修		
授業形態				単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		生産デザイン工学科 (情報システムコース)		対象学年	4		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教材		SEIZE THE KEYS OF THE TOEIC® L&R TEST(金星堂) TOEIC® L&Rテスト攻略の鍵					
担当教員		奥 真裕,東島 加奈					
到達目標							
・ TOEIC500点レベルの語彙を習得し、同レベルの英文読解ができる。 ・ TOEIC500点レベルのリスニングができる。 ・ 英文読解に必要な基本的文法が理解できる。 ・ TOEICで500点相当の点数が取れる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1		TOEIC500点レベルの語彙を習得し、同レベルの英文読解ができる。		TOEIC500点レベルの語彙を70%程度習得し、同レベルの英文読解が70%程度できる。		TOEIC500点レベルの語彙を50%未満しか習得できず、同レベルの英文読解もほとんどできない。	
評価項目2		TOEIC500点レベルのリスニングができる。		TOEIC500点レベルのリスニングが70%程度できる。		TOEIC500点レベルのリスニングがほとんど理解できない。	
評価項目3		英文読解に必要な基本的文法が理解できる。		英文読解に必要な基本的文法が70%程度理解できる。		英文読解に必要な基本的文法がほとんど理解できない。	
評価項目4		TOEICで500点程度の得点を取ることができる。		TOEICで400点程度の得点を取ることができる。		TOEICで300点程度の得点を取ることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		本授業では、TOEICに対応できる読解力、リスニング力、語彙力の増強を図りながら、総合的英語力を向上させることを目的とする。将来も自力で英語学習を継続していくために、自分に適した英語学習方法を探究する。					
授業の進め方・方法		文法、リーディング問題は事前に自宅で解いておく。教科書音源を用いて繰り返しリスニング練習や音読練習を行い、定着を図る。授業では教科書以外の英語に触れることもある。授業に関連した内容を中心に小テストを行う。					
注意点		教科書音声ファイルは各自ダウンロードして、予習・復習に活用する。試験はリスニングテストを含む。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	Unit 7 Production & Logistics		製造物流に関する語句・表現		
		2週	Unit 7 Production & Logistics		助動詞		
		3週	Unit 8 Employment		雇用に関する語句・表現		
		4週	Unit 8 Employment		時制		
		5週	Unit 9 Personnel		人事に関する語句・表現		
		6週	Unit 9 Personnel		受動態		
		7週	Review		反復練習で定着を図る。		
		8週	中間試験		1～7週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。		
	4thQ	9週	試験問題解答、Unit 10 Business		ビジネスに関する語句・表現		
		10週	Unit 10 Business		分詞・分詞構文		
		11週	Unit 11 Health & Environment		健康環境に関する語句・表現		
		12週	Unit 11 Health & Environment		不定詞・動名詞		
		13週	Unit 12 Finance		財政に関する語句・表現		
		14週	Unit 12 Finance		関係詞		
		15週	定期試験		9～14週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。		
		16週	定期試験内容についての解説		定期試験の内容を理解する。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。		3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。		3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。		3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。		3	

				日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
				英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。		3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	
				あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる	3	
				複数の情報を整理・構造化できる。	3	
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	3	
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	3	
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	3	
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	

評価割合

	試験	課題テスト	課題・小テスト・TOEIC	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	30	0	0	0	100
基礎的能力	70	0	30	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0